

地 域 防 犯 力 の 向 上

鹿児島中央警察署長 有馬 晋作

新年明けましておめでとうございます。医療関係の皆様には、日頃、犯罪被害者の支援、検視業務、職員の健康管理、各種照会などなど大変お世話になっております。

特に鹿児島市医師会管下の皆様には色々なご無理を申し上げておりますことをお詫びいたしますとともに迅速なご対応をいただいておりますことに本稿をお借りして厚くお礼申しあげます。

さて、折角寄稿の機会をいただきましたので、新春にふさわしいものかどうかはさておき私どもが目指しております「日本一安全で安心な鹿児島づくり」に欠かせない「防犯」なかでも地域における「防犯力」について少しだけ述べさせていただきます。

かつて、我が国では、「水と安全はタダ」と言っていた（思われていた）時期がありました。

しかし、近年の治安情勢に鑑みるとそのような安全神話は過去の遺物となっています。

殺人、強盗、放火、振り込め詐欺、子供や女性に対する犯罪など市民生活を脅かすあらゆる犯罪が都会や地方の区別なく発生しているのが現状です。

鹿児島市におきましては、県内の犯罪の4割強が発生しており防犯力の向上は喫緊の課題となっています。

「防犯」とは、読んで字の如く犯罪を未然に防止することです。

「防犯」という考え方の中にも建物に防犯





カメラを取り付けたり、防犯ブザーを身につけたりするなどの犯罪を犯そうとする者に対する対症療法的ないわゆる「受動的防犯」と地域の自治組織が主体となってあらかじめ犯罪の起きやすそうな場所（死角、暗がりなど）をなくしたり、子供への声かけ活動をしたり、あるいはスポーツ団体、企業、青年団組織等が自主防犯ボランティア団体を結成し警察と連携したパトロールを実施するなどして結果的に犯罪の起きやすい環境を改善しようとする「能動的防犯」があります。

受動的防犯の重要性もさることながら、最近は「防犯」の本旨により近い「能動的防犯」がクローズアップされているところであります。

私は、能動的防犯は、地域防犯力そのものであり、その地域防犯力を向上させ活発にしていくことが、地域の安全安心に繋がっていくものと確信をしております。

鹿児島市におきましても各地区の有志を中心となった自主防犯ボランティア団体が数多く結成されており、各団体の特性を生かした各種の活動を展開していただいているほか、自治体、地域においても防犯カメラの設置や防犯灯の設置、防犯放送など積極的に防犯活動を実施して頂いており、その活動は県下でも有数のものを感じているところであります。

地域の安全安心は、ひとり警察のみで為し

得るものではありません。

地域の皆様の「自分達の地域は自分達で守る」という地域防犯の精神とが相まってこそ達成し得るものであります。引き続き皆様それぞれのお立場からのご協力をよろしくお願ひいたします。

地域の皆様と手を携えてこの愛すべき鹿児島の安全安心を確保するため私ども警察も全力を尽くします。

さて、話はがらりと変わります。私は鹿医郷壇のファンであり毎号楽しみに拝見させていただいておりますが、実は私も郷壇選者の樋口一風先生にご指導をいただき薩摩狂句を少しばかり囁っておりますのでお目汚しとは思いますが駄句をご披露して本稿を締めたいと思います。

天井す仰向つ覚悟を決めた手術台
からえゆするつかつこしゅじゆつだい
体で良ち言もんぬ全部食て肥満っ
けねいまわじもで
家族ん声今際ん爺をば連れ戻っ
くみめいな
間なし来い見舞が治癒ゆば遅らけっ
きゆよんこもな
今日が山ち言たや横杵者は持つ直えっ

川柳も同じく樋口一風先生にご指導いただいて迷句を粗製濫造しておりますので少しだけご披露いたします。

命の灯チームで守るDMAT
間違いあれとセカンドオピニオン
日帰りのはずがポリープ泊められる
ストレスは毒と待たせた医者が言い
病床を低く囲んで祝う初春

(二天)

どうぞ皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。了